

オンライン授業実践報告

ムンバイ日本人学校



田中みづほ

学年	小学部 4 年	教科	図画工作
単元名	ゴー！ゴー！ドリームカー		
活用する ICT	Zoom, iVCam (Web カメラアプリ iPhone で使用)		

◎本時の目標

車輪の仕組みを理解し、自分で選んだ材料で作ることができる。

◎本時の展開

過程	主な学習活動	指導上の留意点
つ か む	<p>前時のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の力で走る車を作る計画を確認する。 <p>本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 車輪はどのようにして、回っているのかな？ </div>	
考 え る	<p>車輪の仕組みと作り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料は何を使おうかな？ ・ストローを使うのは何のためかな？ ・どんな順番で組み立てたらいいかな？ ・丈夫なタイヤはどの材料かな。 ・竹ひごをストローの中に通しているね。 ・どんな順番で組み立てたらいいかな。 	<p>・教科書の作り方の図を見ながら、考える視点を与える。(教科書の画面共有)</p> 
深 め る	<p>車輪の部分を作る。</p> <p>「キャップを2こくっつけると丈夫になる。」</p> <p>「先にストローを通してから、2つ目のタイヤを取り付けよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えた手順に沿って、材料を組み立てていく。 ・ストローを通さない時と、通した時の車輪の回り方を比べ、箱をに固定しても、竹ひごがストローの中で回転できることに気づく。 	<p>・ボトルキャップに穴をあける作業の時には、安全のために保護者に知らせ、近くで見守ってもらう。</p> <p>・Web カメラで教員の手元を画面共有し、組立ての手順を確認しながら作業を進める。</p> 

まとめ	「ストローを使うことで、軸を固定しても車輪は回ることができる。」 ・次時の確認	・次時は、車輪を箱に固定し、どのように風を当てたら、車が動くのかを考えることを予告する。
-----	--	--

◎成果と課題

○教科書の作り方の図を画面共有し注目させることで、材料選びの視点を与えたり、なぜその手順になるのかを考えたりする活動がスムーズにできた。

○以前は、パソコンのカメラで向かい合った画面や動画での説明だったため、細かい手順の理解がしづらかったり何回も動画を止めたりしながらの活動だったが、Webカメラで教員の手元を映し出すことで、児童の手元と左右同じ向きの画面が映し出され、さらに児童のペースに合わせてピンポイントで作業の説明ができるので、児童が混乱することなく活動できた。

△オンラインだと作業している児童の手元が見えないので、今後も保護者と相談しながら協力していただき、安全面に十分注意することと児童側のWebカメラ使用などの検討を進めたい。

△オンライン授業では、教員が実際に児童の作業の手伝いはできないので、よりきめ細やかな説明やアドバイスが求められる。そのためには、Webカメラや動画などの画面共有が必須であり、それらをスムーズに利用できる環境が学校にも家庭にも必要となってくる。

